

第5部 岐阜県知事賞

[illegible]

○ 講 評

「私たちのソウルフードは、世代を超えて愛されているのか」という疑問をもち、同学年生徒（以下、中学生）と教員（以下、大人）の2つの世代に対して、岐阜のモーニングに関する調査を実施しています。

9つの質問内容から、中学生と大人のモーニングの楽しみ方を分析し、岐阜のモーニングは十分な観光資源になることを結論付けています。

異なる集団の回答傾向を比較するために、割合を使って考察し、内容に応じたグラフの表し方を工夫しています。

グラフの色合いや背面写真等の工夫もあり、素晴らしい作品です。

テーマ

数字で見る、岐阜モーニングの魅力

～私たちのソウルフードは、世代を超えて愛されて
いる？～

学 校 大垣市立東中学校

学 年 2年

氏 名 種田 栞音

中学生のスマホ利用の実態と自己認識のずれ

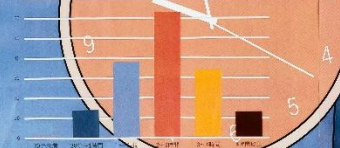
～データで探る「使いすぎ」のメカニズム～

「思っていたより、スマホに時間を奪われていませんか？」 データで見るのは、「自覚」と「現実」の差

私たちはスマホやタブレットを毎日使っています。しかし、実際にどれくらい使っているかを正確に把握している人は少なく、自己認識と実際にはズレが生じていると考えました。そこで、アンケートを実施し、利用時間の分布や利用理由、使用後の気持ち、生活への影響などを統計的に整理し、グラフ司士の関係性も示すことで、データから傾向を読み取る作品としてまとめています。



1日のスマホ利用時間、あなたはどのタイプ？



休日・平日を合わせた平均のスマホ利用時間は長く、生活リズムに反響なく毎日が習慣化していることが示される。

スグリーンスクリーンで見たことあるか？

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

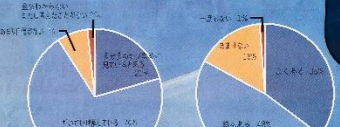
主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

主観と客観の交差点-利用時間の統計的考察

予想 vs 現実:スマホ時間のズレ

どのくらい使っているか？ 思ったより使っていたことはあるか？



スマホを使う時間の予想と実際の利用時間を比べると、多くの人で予想より長くなっている。このずれが、勉強時間の減少や睡眠不足として生活に現れ、学力と健康の差が生活全体に影響することがわかる。

スマホ利用の見える影響を数字で読み解く



スマホ利用は、便利さや情報取得の速さといった利点をもたら一方で、学習効率の低下や睡眠不足等の影響も抱えている。特に長時間の利用は、集中力や学習リズムの乱れと関連しており、そのバランス管理が重要であることがデータから明らかである。

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

28人の“なんとなく”を分析

“連絡”と“娯楽”の二重化

スマホの使い方が「連絡」と「娯楽」に分かれ、利用時間と生活への影響に差が現れた。

娯楽利用は長時間利用で健康や睡眠への影響が大きく、連絡利用は影響が少なかった。

クロス集計による考察(“連絡”と“娯楽”の二重化と28人の“なんとなく”を分析)

スマホの使い方には目的がある人が多い一方で、理由なく使う人も少なくない。そのような人でも、使ったあとの気分や満足感やストレス、疲労などさまざまである。

このことから、利用目的の有無は行動だけでなく、生活や感情への影響にも関係することがわかる。理由なく使う場合でも、心理的な満足を得ることはあるが、無意識のうちに疲労や睡眠に影響しやすく、生活リズムに差を生まる可能性がある。

少数の“なんとなく”利用者であっても、全体の傾向や生活への影響を考えるうえで、データから明らかになっている。

大垣市立東中学校3年生 170名を対象にしたアンケート結果(2025年7月実施)

講評

中学生（同学年生徒170人）を対象にしたスマートフォンの使用時間や使用目的等を調査する活動を通して、調査項目同士の相関に着目したクロス集計を実施し、スマートフォンの利用の質を向上させるためには、「利用時間の可視化」と「目的設定が効果的であること」を結論付けています。

調査から気付いたことや結論付けたいことを分かりやすく伝えるために様々なグラフを用いています。

本作品の読み手が、自身のスマートフォンの使用時間、目的等を振り返り、スマートフォンの利用について考えられるようなストーリーになっています。

テーマ

中学生のスマホ利用の実態と自己認識のずれ

学 校

大垣市立東中学校

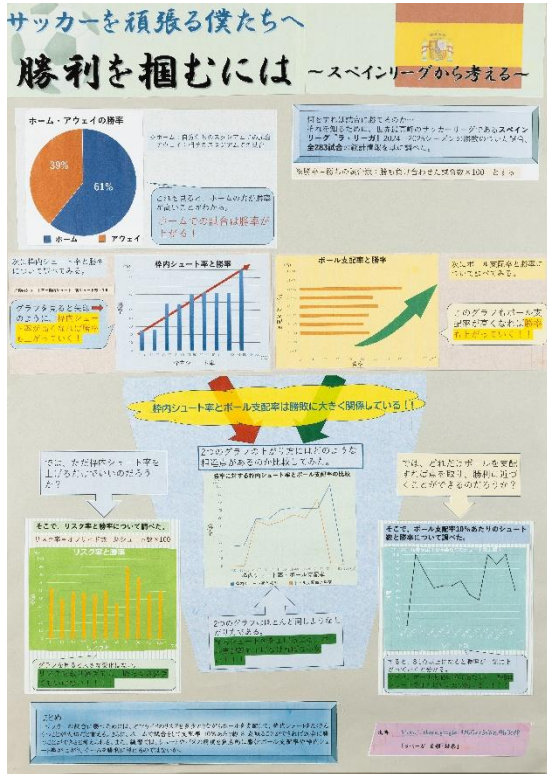
学 年

3年

氏 名

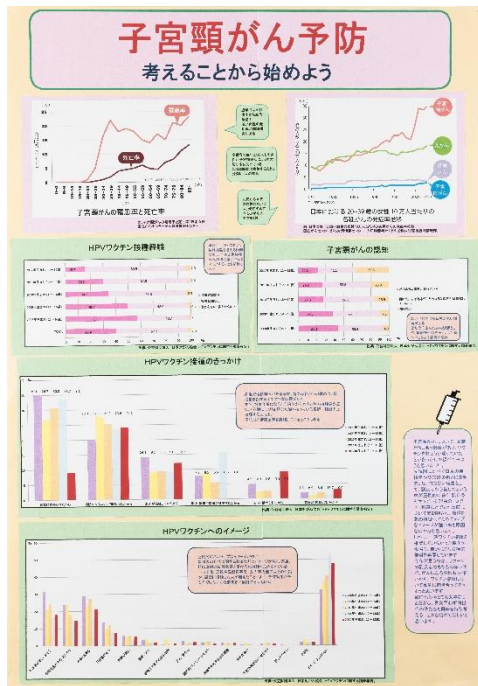
三摩 勇貴

第5部 入 選



テーマ サッカーを頑張る僕たちへ
勝利を掴むには
～スペインリーグから考える～
学 校 大垣市立南中学校
学 年 2年
氏 名 吉田 琢人

第5部 佳作



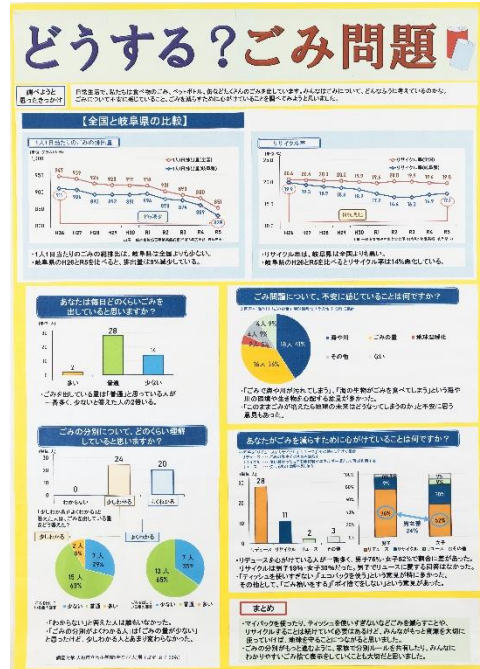
テーマ 子宮頸がん予防
考えることから始めよう

学校 大垣市立東中学校

学年 2年

氏名 安藤 稟乃

第5部 佳作



テーマ どうする？ごみ問題

学校 大垣市立南小学校

学年 5年

氏名 川地 杏奈

第5部 奨励賞名簿

作 品 名	学校名	学年	氏 名
賭博で億万長者になれるのか？！	神戸町立神戸中学校	2	鷺見 武
終わりのない《保護猫活動》	高山市立江名子小学校	6	中島 一穂
スポーツと熱中症対策	高山市立日枝中学校	2	中島 悠希